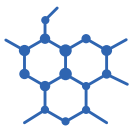


とくしまビジネス リスクリング スクール 2024



CONTENTS

リスキングとは？

「新しい職業に就くために、あるいは、今の職業で必要とされるスキルの大幅な変化に対応するために必要なスキルを獲得する/させること」をいいます。

本学の講座では、経営者や一般社員のスキルアップを経済産業省の取り組みとしてすすめるエンゲージメントや技術、ビジネス、DX、AIなどさまざまな分野でのリスキングを行います。

(出典「リスキングとは—DX時代の人材戦略と世界の潮流—」)

講座4 これからのビジネスに役立つ サーキュラーエコノミー基本講座

サーキュラーエコノミー（循環型経済）は、廃棄をなくし、資源の有効活用やリサイクルによって二酸化炭素排出を抑え、同時に経済成長も目指す新たなビジネスの潮流である。この講座では、この流れを自社の成長につなげたいビジネスマンや自治体の環境担当者向けに、脱炭素社会に求められる基礎知識を身につけるとともに、循環型ビジネスモデルの企画立案ができることを目標とする。

講座6 新商品・開発のためのマーケティング講座

マーケティングは、営利・非営利などの組織形態、製造業やサービス業などの業種、また企業規模の大小を問わず、組織が市場や社会と良好な関係を築くために重要な役割を果たす活動である。この講座では、企業がマーケティングを実践する際に基礎となる知識を習得するとともに、事例研究を通じてその実践方法や自社への適用方法についての理解を深めることを目指す。

講座7 ゼロから学び仕事に活かせる3D-CAD講座

3D-CADの基本的な知識と実際のCADソフトウェア（Fusion360）を用いた様々なモデリング、アセンブルの方法を学習する。また、3Dプリンタについての基本原理とCADデータを用いた製作方法についても学ぶ。さらに、モデリングデータを活用した、構造解析やレンダリング、アニメーションの手法についても解説する。そして、具体的な物体を用いたモデリングおよび3Dプリンタによる製作実習を行うことで部品・製品のデジタル化を体験する。

講座9 次の時代を担うリーダー育成講座

この講座では海外ビジネスを担当する人材をバックアップするために具体的な販路拡大を実現した事例研究や成功のポイントを学ぶ。3Sの改善活動を通じて、チームワークの醸成や人間の成長に繋がる事を学び、改善活動が定着するための取り組みを紹介する。ものづくり産業で働いた講師の経験や学者、先輩達の教えの中から、お客様に届く製品やサービスの信頼性、競争力を高めるリーダー的人材を育成する方法を学ぶ。マネジメント能力やコミュニケーション能力を高めリーダーの動機づけを行う。

講座11 Raspberry Piを使って学ぶ ロボットプログラミング講座

ロボットの基礎技術であるモーションコントロールの概要とその要素技術として基本的なアクチュエータとセンサについて解説する。また、安価な小型コンピュータを利用したロボット制御実習を通してロボットの制御プログラム製作の実習を行う。さらに、ロボット導入が加速している介護・福祉分野や農業分野におけるロボット開発事例についても紹介する。

講座12 基礎から始めるAIエンジニア育成講座

2022年から生成AIが、一般のサービスとして広く利用できるようになっている。生成AIの技術、応用可能性は、我々の社会を大きく変えようとしている。生成AIをどのように活用できるかが、これからの社会人あるいは企業・組織としての成功に、きわめて重要となるだろう。この講座では、生成AIの中核となる画像認識・言語生成の仕組みを学ぶとともに、生成AIをより発展的に応用するための技術を基礎から学ぶ。

講座1 エンゲージメントマネジメント講座

この講座は、講義、ケーススタディ、ディスカッションとベンチマーク視察（大阪府）からなる。座学の講義では経営に関する基礎的知識の習得を行う。実習としてのケーススタディは徳島県内における企業経営者による最新の事例研究を行う。その後、各グループに分かれ、ケーススタディと自社との比較を行い、ディスカッションにより知識を深化させる。ベンチマーク視察は、経営者、人事労務担当者から講演をいただいた後、工場見学を行う。訪問企業の「人材育成の取り組み」「優れたものづくり技術について学び、得られた知識を自社に取り入れる手法を提案する。

講座2 人を大切にする経営学講座

この講座では、人を大切にする経営について習得する。「人を大切にする経営」とは、従業員とその家族、協力会社とその家族、顧客、地域社会、株主という5人の関係者の幸せを実現する「五方良し」の経営である。人を大切にする経営を始めるためには、経営理念で表現された社会的な使命を、全社で一丸となって実現しようとする職場を作らなければならない。この講座は、講義、ケーススタディ、ディスカッションとベンチマーク視察（岡山県）により、いい会社をどうやってつくるのか？ 実践する企業の事例とともに学習する。

講座3 ビジネス学講座（経営学II）

この講座では、組織とは何か、組織力強化のための職場環境づくりについて学習する。組織について、理論として、テイラーなどの伝統的組織論、近代的組織論、基本的な組織形態などについて学習する。組織を強化するための職場環境づくりについては、経営理念、ワークライフバランス、女性活躍促進の現状と課題について学ぶ。事例研究として、徳島県内企業経営者における「組織力と現場力」「人的資本経営と健康経営」について実践的な講義を実施する。

講座5 トヨタ生産方式とIEから学ぶ生産管理講座

トヨタ生産方式とIE（経営工学&生産管理）を学ぶ。トヨタ生産方式の基本的な考え方であるものづくり現場の仕事のムダを省く、自動化をする、在庫を削減するために作業標準の作り方を学習する。また改善ポイントを明確にして改善ステップの手順を理解し自職場での改善に応用する。IEの基礎を学び工程改善の手段として工程分析、作業分析、動作分析について学習し改善案を演習する。

講座8 光によるセンシング・イメージング計測技術講座

この講座は発展を続ける光によるセンシング・画像計測を紹介する。内容は赤外線画像計測による異物検査、超高速分光の応用、光周波数コムの利用と非線形光学顕微鏡による生体計測、THz波や偏光を利用した計測、次世代光センシング・イメージング技術と多岐に渡り実用化に向けたステージは異なるが、測定対象物から情報を得るために光の性質や、物質の光に対する振舞いを利用する考え方は共通しており、光技術の今後の発展も見据えた内容になっている。

講座10 建設インフラDX講座—GISとBIM/CIM—

この講座では、GISとBIM/CIMの基礎知識を学ぶと共に、スマートシティへの展開も含めた最新事例の紹介を行う。加えて、GISソフトを用いた簡単なデータ処理に関する演習、データ分析を用いた都市計画や交通計画の事例紹介も行う。

講座13 優良企業の知恵を現地で学ぶベンチマーク視察

今回のベンチマーク視察は、リボン食品株式会社、株式会社王宮、船場化成株式会社、徳島カム株式会社、萩原工業株式会社、株式会社フジワラテクノアートを見学する。人事労務担当者、工場担当者から講演をいただいた後、工場見学を行う。訪問企業の「人材育成の取り組み」「優れたものづくり技術」について学び、得られた知識を自社に取り入れる手法を提案する。



令和6年度

「とくしまビジネスリスティングスクール」講座一覧

◆ 開講式 / 令和6年7月 4日 (木) 13:00~13:30
◆ 修了式 / 令和7年3月19日 (水) 13:30~14:30

ビジネス系講座

1. エンゲージメントマネジメント講座 13:00~17:00 25.5時間

7月 4日 (木)	1. いい企業になるための100の指標 (13:30~17:30)	人を大切にする経営学会 (株)高橋ふとん店	坂本光司 高橋武良
7月26日 (金)	2. 経営理念の成文化と社内への浸透	徳島大学 (株)シヤン (株)高橋ふとん店	段野 聡子 高橋 武良
8月 2日 (金)	3. 多様な人財が輝く職場づくりと企業の価値創造	GCOキャリア・カウンセリング事務所 (株)日産サティオ徳島 (株)あわわ	尾形 隆平 藤村 泰之 坂田 千代子 平島 勇次
9月13日 (金)	4. ウェルビーイング経営と企業の成長	徳島県経営者協会 健祥会グループ 税理士法人Global Activation (株)ときわ	中村 晃子 高岡 彰治 高畑 富士子
9月24日 (火)	5. ベンチマーク視察*	リボン食品 (株) (株)王宮	
11月 1日 (金)	6. ベンチマークの学びについての振り返り、成果発表 (10:00~17:00)	徳島大学 人を大切にする経営学会 (株)高橋ふとん店	段野 聡子 坂本 光司 高橋 武良

2. 人を大切にする経営学講座 人を大切にする経営学会 後援 13:00~17:00 21.5時間

11月29日 (金)	1. 時代が求める企業経営のあり方・進め方、人を大切にする企業の就業規則とは	徳島大学 人を大切にする経営学会 佐野社会保険労務士事務所	段野 聡子 坂本 光司 佐野美佐子
12月20日 (金)	2. お互いさま経営	(株)天彦産業 (株)高橋ふとん店 徳島大学	樋口 友夫 高橋 武良 段野 聡子
1月20日 (月)	3. 五方良しの経営、楽しみ方経営	(株)さくら住宅 沢根スプリング (株) 徳島大学	二宮 生憲 沢根 孝佳 段野 聡子
2月 4日 (火)	4. ベンチマーク視察**	萩原工業 (株) (株)フジワラテクノアート	
2月17日 (月)	5. 社員のモチベーションを高める経営 令和5年度受講後における実践報告、成果発表 (10:00~17:00)	徳島大学 人を大切にする経営学会 リスティングプログラム企画・検討委員会 委員	段野 聡子 坂本 光司

3. ビジネス学講座 総合科学部正規科目 経営学II 徳島県中小企業家同友会 後援 14:35~16:05 22.5時間

10月 2日 (水)	1. イントロダクション	徳島大学	段野 聡子
10月 9日 (水)	2. 企業経営と現代社会	徳島大学	段野 聡子
10月16日 (水)	3. 組織とは	徳島大学	段野 聡子
10月23日 (水)	4. 経営組織—伝統的組織論と近代組織論—	徳島大学	段野 聡子
10月30日 (水)	5. 経営組織とワークライフバランス	徳島大学	段野 聡子
11月13日 (水)	6. 組織力と現場力	徳島大学	段野 聡子
11月20日 (水)	7. 中間まとめ	徳島大学	段野 聡子
11月27日 (水)	8. 組織と現場力：経営者による実学	徳島大学 徳島県中小企業家同友会	段野 聡子 藍原理津子
12月 4日 (水)	9. 組織と現場力：経営者による実学	徳島大学 徳島県中小企業家同友会	段野 聡子 山城 真一
12月11日 (水)	10. 日本的経営とは	徳島大学	段野 聡子
12月18日 (水)	11. 日本的経営—諸外国との比較—	徳島大学	段野 聡子
1月15日 (水)	12. 日本的経営の変革—成功と失敗—	徳島大学	段野 聡子
1月22日 (水)	13. 人的資本経営と健康経営・・・徳島県企業事例研究	徳島大学 徳島県中小企業家同友会	段野 聡子 藤田 達也
1月29日 (水)	14. 人的資本経営と健康経営・・・徳島県企業事例研究	徳島大学 徳島県中小企業家同友会	段野 聡子 高橋 武良
2月 5日 (水)	15. 期末試験	徳島大学	段野 聡子

4. これからのビジネスに役立つサーキュラーエコノミー基本講座			10:00~12:00 13:00~16:00	10時間
11月11日(月)	1. サーキュラーエコノミーの基本理解	(株)サーキュラーエコノミードット東京		熊坂仁美
11月11日(月)	2. サーキュラーエコノミーの5つのビジネスモデル	(株)サーキュラーエコノミードット東京		熊坂仁美
11月25日(月)	3. 国内外の事例で見る地域の資源循環	(株)サーキュラーエコノミードット東京		熊坂仁美
11月25日(月)	4. 脱炭素社会の国際的動向と企業の未来	(株)サーキュラーエコノミードット東京		熊坂仁美

ものづくり系講座

5. トヨタ生産方式とIEから学ぶ生産管理講座			13:30~16:30	15時間
7月11日(木)	1. IEの基礎と効率UP①	東京都立大学		渋谷正弘
7月18日(木)	2. IEの基礎と効率UP②	東京都立大学		渋谷正弘
7月25日(木)	3. トヨタ生産方式の基本的な考え方	(株)ジェイテクト		大野紀一
8月 1日(木)	4. トヨタ生産方式(標準作業)	(株)ジェイテクト		大野紀一
8月 8日(木)	5. トヨタ生産方式(標準作業と改善)	(株)ジェイテクト		大野紀一

6. 新商品・開発のためのマーケティング講座			13:30~16:30	15時間
7月23日(火)	1. マーケティング発想を柱とする経営	流通科学大学		清水信年
7月30日(火)	2. マーケティング活動の基礎:STPと4P	流通科学大学		清水信年
8月 6日(火)	3. 商品企画とコンセプト	流通科学大学		清水信年
8月20日(火)	4. ブランドのマネジメント	流通科学大学		清水信年
8月26日(月)	5. 事業システムによる競争優位	流通科学大学		清水信年

7. ゼロから学び仕事に活かせる3D-CAD講座			13:30~16:30	24時間
8月 7日(水)	1. 3D-CADの概要とFusion360の基本操作	徳島大学		浮田浩行
8月21日(水)	2. 基本的な形状のモデリング	徳島大学		浮田浩行
9月 4日(水)	3. 複雑な形状のモデリングとアセンブリ	徳島大学		浮田浩行
9月11日(水)	4. 3Dプリンタの概要とCADデータを用いた出力	徳島大学		浮田浩行
9月25日(水)	5. CADデータを用いた構造解析	徳島大学		浮田浩行
10月 2日(水)	6. 様々な形状モデルの作成	徳島大学		浮田浩行
10月 9日(水)	7. レンダリング、アニメーション	徳島大学		浮田浩行
10月16日(水)	8. ジェネレーティブデザインと基盤設計の紹介、モデル作成実習	徳島大学		浮田浩行

8. 光によるセンシング・イメージング計測技術講座			13:30~16:30	15時間
9月 2日(月)	1. 光による食の安全とAIを用いたマルチメディアシステム	徳島大学		獅々堀正幹 山口堅三
9月 9日(月)	2. 超高速分光の原理とその応用事例	徳島大学		古部昭広 片山哲郎
9月30日(月)	3. 光周波数コムを紹介と非線形光学顕微鏡による生体計測	徳島大学		久世直也 長谷栄治
10月 7日(月)	4. THz波や偏光を利用した計測・イメージング技術	徳島大学		江本顕雄 時実 悠
10月21日(月)	5. 次世代光センシング・イメージング技術の最前線	徳島大学		矢野隆章

9. 次の時代を担うリーダー育成講座

13:30~16:30 15時間

9月26日(木)	1. ケーススタディから学ぶ中小企業のための海外ビジネス	日本貿易振興機構(ジェトロ) 徳島貿易情報センター	佐藤 創
10月 3日(木)	2. 3Sの展開による職場の活性化	(株)日産サティオ徳島	藤村泰之
10月17日(木)	3. 顧客の信頼が支えるものづくり組織の活性化と成長	元ヤマハモーターソリューション(株)	寺井康晴
10月24日(木)	4. リーダーシップの育成とマネジメント	元ヤマハモーターソリューション(株)	寺井康晴
10月31日(木)	5. 企業風土の改革とコミュニケーション能力の向上	元ヤマハモーターソリューション(株)	寺井康晴

10. 建設インフラDX講座ーGISとBIM/CIMー

13:30~16:30 15時間

9月27日(金)	1. GISの考え方	徳島大学	渡辺公次郎
10月11日(金)	2. GISを用いたデータ処理	徳島大学	渡辺公次郎
10月25日(金)	3. GISの応用	徳島大学	渡辺公次郎 兵頭 知
11月 7日(金)	4. 建設業におけるBIM/CIM、インフラDXの動向	四国建設コンサルタント(株)	太田 亮
11月14日(金)	5. オープンデータ等による3次元データの取扱い	四国建設コンサルタント(株)	太田 亮

11. Raspberry Piを使って学ぶロボットプログラミング講座

13:30~16:30 24時間

12月 5日(木)	1. ロボットの基礎技術	徳島大学	鈴木浩司
12月12日(木)	2. マイクロコントローラとロボットの機構	徳島大学	鈴木浩司
12月19日(木)	3. Raspberry Piの初期設定とGPIO制御	徳島大学	鈴木浩司
1月 9日(木)	4. 電圧の計測とセンサICとの通信	徳島大学	鈴木浩司
1月16日(木)	5. PWMによる電圧制御とDCモータの速度制御	徳島大学	鈴木浩司
1月23日(木)	6. フィードバック制御によるモータの角度制御	徳島大学	鈴木浩司
1月30日(木)	7. RCサーボモータの制御とアーム型ロボット	徳島大学	鈴木浩司
2月 6日(木)	8. 発展課題と大学でのロボット研究紹介	徳島大学	鈴木浩司

12. 基礎から始めるAIエンジニア育成講座

13:30~16:30 24時間

1月10日(金)	1. AIの基礎	徳島大学	鳥井浩平
1月14日(火)	2. Pythonのプログラミングと画像処理	徳島大学	鳥井浩平
1月24日(金)	3. 物体認識AIをつくる	徳島大学	鳥井浩平
1月31日(金)	4. 物体認識アプリをつくる	徳島大学	鳥井浩平
2月 7日(金)	5. 言語生成AIをまなぶ	徳島大学	石田基広
2月14日(金)	6. 言語生成AIを拡張する	徳島大学	石田基広
2月21日(金)	7. 言語生成AIに追加の情報を与える	徳島大学	石田基広
2月28日(金)	8. 言語生成AIをアプリ化する	徳島大学	石田基広

13. 優良企業の知恵を現地で学ぶベンチマーク視察

ベンチマーク視察

9月24日(火)	1. リボン食品株式会社・株式会社王宮	大阪府	*講座1 コマ5と同じ講座です
10月22日(火)	2. 船場化成株式会社	阿波市	
11月15日(金)	3. 徳島カム株式会社	北島町	
2月 4日(火)	4. 萩原工業株式会社・株式会社フジワラテクノアート	岡山県	*講座2 コマ4と同じ講座です

講座1

エンゲージメント マネジメント講座

到達目標

- ①人を生かす経営を習得し、ベクトル一致の強靱な組織づくりにつなげる。
- ②女性活躍促進と企業の成長について理解し、個性と能力が十分に発揮できる組織づくりにつなげる。
- ③ダイバーシティの重要性を理解し、誰もが活き活きと働ける職場づくりにつなげる。
- ④ウェルビーイング経営についての知識習得、ウェルビーイング経営の実態と課題について理解し、今後の企業における取り組みにつなげる。

習得に必要な時間

コマ数：6コマ 25.5時間

受講料

全コマ受講の受講料

34,000円

*コマ受講は対応していません。

テキスト

事前の購読を
おすすめします。

坂本光司著「会社の偏差値」強くて愛される会社になるための100の指標
坂本光司著「経営者のノート」



講座紹介

この講座では、理論と実務の両面から企業経営のあり方・進め方を学ぶことが出来ます。

「人への投資、人を大切にする、人を幸せにする企業をどうつくるか」という「人的資本経営」に関する動きが国内において活発化しています。当講座では、「人本経営」に焦点をあてた、社員のエンゲージメント向上に資するリスキング講座を実施します。キーワードは、人を生かす経営、ダイバーシティ、女性活躍促進、ウェルビーイング経営です。この講座は、講義、ケーススタディ、ディスカッションとベンチマーク視察（大阪府内企業）により構成されています。講義では経営に関する理論の習得を行います。ケーススタディでは、徳島県内における企業経営者による最新の事例研究を行います。理論、ケーススタディを踏まえ、グループでのディスカッションにより企業事例研究発表を行い、知識を深化させます。ベンチマーク視察では経営者、人事労務担当者から講演をいただいた後、工場見学を行い、「人財育成の取り組み」「優れたものづくり技術」について学び、得られた知識を自社に取り入れる手法を提案します。

担当講師

コマ1・6	人を大切にする経営学会 会長 坂本 光司	コマ3	(株)あわわ 会長 坂田 千代子
コマ1・2・6	(株)高橋ふとん店 代表取締役社長 高橋 武良	コマ3	徳島県経営者協会/ コンプライアンス経営強化推進センター リーダー 平島 勇次
コマ2・6	徳島大学人と地域共創センター 教授 段野 聡子	コマ4	健祥会グループ 常務理事 中村 晃子
コマ2	(株)シンケン 代表取締役社長 島 隆寛	コマ4	税理士法人Global Activation 代表 高岡 彰治
コマ3	GCOキャリア・コンサルティング事務所 代表 尾形 隆平	コマ4	(株)ときわ 代表取締役社長 高畑 富士子
コマ3	(株)日産サティオ徳島 代表取締役社長 藤村 泰之		

講座プログラム

- | | |
|------------|----------------------------|
| 7月 4日 (木) | 1. いい企業になるための100の指標 |
| 7月26日 (金) | 2. 経営理念の成文化と社内への浸透 |
| 8月 2日 (金) | 3. 多様な人財が輝く職場づくりと企業の価値創造 |
| 9月13日 (金) | 4. ウェルビーイング経営と企業の成長 |
| 9月24日 (火) | 5. ベンチマーク視察 |
| 11月 1日 (金) | 6. ベンチマークの学びについての振り返り、成果発表 |

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



各コマ概要：各コマで習得を目指す知識・技術

コマ1：いい企業になるための100の指標

選ぶべき会社、選ばれる会社の基準、これからの企業評価の新基準について考えます。客観的に自社を評価することは、より良い企業づくりにおいて重要です。このコマにおいては、自社を評価できる知識を習得します。自社の問題点を見つけ、社員全員でベクトルを合わせ取り組むことができる企業は、この基盤により成長を図ることができます。社員とその家族に関する指標、現在顧客とその家族に関する指標などについて考察します。

コマ2：経営理念の成文化と社内への浸透

経営理念は、経営を行う上で基本とすべき経営方針や価値観や考え方を明文化したものです。自分たちが企業運営を行う目的や行動指針ともなるため、企業経営の軸となる存在です。経営理念を軸として、企業経営の進むべき方向性を明らかにし、社員の意思を統一することにより、強靱な組織力を構築することができます。このコマでは、経営理念とは何か、経営理念の重要性と社内へ浸透させるための方策について徳島県企業の事例を用いて講義を行います。

コマ3：多様な人財が輝く職場づくりと企業の価値創造

現状における地方経済の閉塞感を打破し、力強く成長・発展する企業をつくるためには、これまでスポットライトが当てられてこなかった人財の活用が不可欠です。組織において変化の起点は、若者、馬鹿者、余所者から始まるといわれるように、今までにない新しい視点や価値観が組織に取り込まれることで、新しい企業価値が創造されるようになります。このコマでは、その過程や効果を、事例研究をもとに検討していきます。

コマ4：ウェルビーイング経営と企業の成長

人的資本経営の必要性が叫ばれる中、従業員が精神的・社会的・身体的に良好な状態であることを示すウェルビーイングという概念が注目を高めています。少子高齢化が進み、労働力人口の低下は、企業の成長にとって負のスパイラルをもたらします。経済環境が不透明さを増す現代において、企業は厳しい経営状態に置かれています。この経営環境を乗り越えるためには、従業員の労働力率をアップさせることが重要です。つまり、「病気治療と仕事の両立」「育児と仕事の両立」「働き方改革」が必要であり、ウェルビーイングの考え方が求められています。このコマでは、県内企業の事例をもとに、ウェルビーイング経営と企業の成長について検討します。

コマ5：ベンチマーク視察

*別途バス代が必要です。

●リボン食品株式会社

リボン食品株式会社は、1907年、洋食やバターが珍しい時代、アメリカで学んだ知識や技術を活かして、日本で初めてマーガリンの製造を開始しました。さらに、1970年には日本で初めて、冷凍パイ生地を販売しました。パイオニア精神を持ち、ユニークな商品作り、徹底した商品へのこだわりを続けてきた企業の「人づくり」、「組織づくり」を講演、工場見学を通じて紹介します。

●株式会社王宮

株式会社王宮は、1970年に創業した宿泊業です。屋号は「道頓堀ホテル」としてホテル事業を展開しています。経営の軸として、「家族主義的経営」を掲げコロナ禍においてもスタッフの福利厚生、働きやすい職場環境づくりに絶やさず尽力し、これらの取り組みが評価され、「第10回ホワイト企業大賞」において大賞を受賞し表彰を受けました。社員の声に耳を傾ける経営のあり方について紹介します。

コマ6：ベンチマークの学びについての振り返り、成果発表

ベンチマーク視察により得られた知見をディスカッション等を通じて振り返ることにより、自社のおかれている状況を客観的に評価、把握し、自社の業績の向上に反映させます。最終講義として、これまでの学習により得たもの、そして得られたものを自社にどのように活用するかということについて、各自成果発表を行います。

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



講座2

人を大切にする 経営学講座

人を大切にする経営学会 後援

到達目標

①企業経営のあり方について理解し、時代が求める組織づくりにつなげる。

②人を大切にする経営の重要性について理解し、社員一人一人がそれぞれの能力をフルに発揮し、大きな成果を生むことができる会社につなげる。

③お互いさま経営について事例をもとに理解し、「お互いさま」の風土の醸成につなげる。

④人を大切にする経営の職場環境づくりについて理解し、社員を物心両面で幸せにする職場づくりにつなげる。

習得に必要な時間

コマ数：5コマ 21.5時間

受講料

全コマ受講の受講料

34,000円

*コマ受講は対応していません。

テキスト

事前の購読をおすすめします。

坂本光司著「会社の偏差値」強くて愛される会社になるための100の指標
坂本光司著「経営者のノート」



講座紹介

この講座では、人を大切にする経営について習得します。「人を大切にする経営」とは、従業員とその家族、協力会社とその家族、顧客、地域社会、株主という5人の関係者の幸せを実現する「五方良し」の経営です。人を大切にする経営を始めるためには、経営理念で表現された社会的な使命を、全社で一丸となって実現しようとする職場を作らなければなりません。この講座は、講義、ケーススタディ、ディスカッションとベンチマーク視察（岡山県内企業）により、いい会社をどうやってつくるのか？ 実践する企業の事例とともに学習します。

担当講師

- コマ1～5 徳島大学人と地域共創センター 教授
段野 聡子
- コマ1・5 人を大切にする経営学会 会長
坂本 光司
- コマ1 佐野社会保険労務士事務所 所長
佐野 美佐子
- コマ2 (株)天彦産業 会長
樋口 友夫
- コマ2 (株)高橋ふとん店 代表取締役社長
高橋 武良
- コマ3 (株)さくら住宅 相談役
二宮 生憲
- コマ3 沢根スプリング(株) 取締役会長
沢根 孝佳
- コマ5 リスキリングプログラム企画・検討委員会 委員

講座プログラム

- 11月29日(金) 1. 時代が求める企業経営のあり方・進め方、人を大切にする企業の就業規則とは
- 12月20日(金) 2. お互いさま経営
- 1月20日(月) 3. 五方良しの経営、楽しみ方経営
- 2月4日(火) 4. ベンチマーク視察
- 2月17日(月) 5. 社員のモチベーションを高める経営
令和5年度受講後における実績報告、成果発表

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



各コマ概要：各コマで習得を目指す知識・技術

コマ1：時代が求める企業経営のあり方・進め方、人を大切にする企業の就業規則とは

近年の拡大する企業間格差の最大要因は経営の「やり方」格差等ではなく、経営の「あり方」格差であると言っても過言ではありません。「あり方」とは「どのような時代でも正しい経営をする・・・」「どのような環境下であっても世のため、人のためになる経営をする・・・」といったことです。このコマでは、企業経営の目的・使命である、関わる人々の幸せの追求・実現をするための経営の「あり方」について講義をします。また、人を生かす経営の入り口である就業規則について「人を大切にするための就業規則」をどのように作るかという視点から講義をします。

コマ2：お互いさま経営

家族優先、社員第一主義を掲げ、社員とその家族を大切にする経営者がいて、「お互いさま」の風土が社風にあるからこそ、女性も男性も活躍できる「真のダイバーシティ経営」が成り立ちます。このように、制度づくりより風土づくり「お互いさま」の気持ちを大切にする企業経営のあり方について、徳島県内外企業の事例をもとにディスカッションを通じて、「お互いさま経営」「真のダイバーシティ経営」について講義をします。

コマ3：五方良しの経営、楽しみ方経営

五方良しの経営とは、①社員とその家族②社外社員とその家族③現在顧客と未来顧客④地域住民とりわけ障がい者等社会的弱者⑤株主・支援機関・地域社会を指します。目的は、関係する人々の幸せの追求・実現、関係する人々が幸せを実感する経営です。そして、業績や企業成長は、目的ではなく目的を実現するための手段、あるいは結果です。つまり、業績や結果が目的になると、人はそのための手段、道具、コストとなります。結果として、手段やコストと評価・位置づけられた人間社員が価値ある仕事をするはずがありません。このコマでは、五方良しの経営、楽しみ方経営について講義をします。

コマ4：ベンチマーク視察

*別途バス代が必要です。

●萩原工業株式会社

萩原工業株式会社は、1962年に設立し産業機械の製造・販売を行っています。経営理念は「萩原工業はフラットヤーン技術を大事にしながら常に変革し続け、世のため人のために役立つ会社であろう」です。この経営理念のもと、社員がいきいきと働くことのできる職場づくりと健康づくりに積極的に取り組んでいます。講演、工場見学を通じて、ウェルビーイング経営のあり方について紹介します。

●株式会社フジワラテクノアート

株式会社フジワラテクノアートは、1933年に創業して以来、岡山市に拠点を構え、醸造機械のトップメーカーとして躍進しています。ミッションは、「醸造を原点とし、世界中の人々がともに喜び合える感動に満ちた社会を実現する」です。技術力、信頼の蓄積を目的とした社員の主体的学びである「リスクリング」を積極的に後押ししています。社員が一体となり、ダイバーシティ、DXの取り組みをすすめ、「経営優良法人2024」に認定されました。

コマ5：社員のモチベーションを高める経営

令和5年度受講後における実績報告、成果発表

いかなる環境変化があっても「人、とりわけ社員第一主義経営」をぶれずに実践している企業の業績は、常に高くなっています。これらの企業は社員の組織満足度も高く、そのモチベーションも安定的に高くなっています。このコマでは、社員のモチベーションを高める経営のあり方について講義をします。最終講義として、受講生の方から、講座を通じて、何を学び、学びを自社にどのように活かすかについて、成果報告を行っていただきます。

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



講座3

ビジネス学講座 総合科学部正規科目 (経営学Ⅱ)

徳島県中小企業家同友会 後援

到達目標

①組織と職場環境づくりについて理解することにより、ベクトルが一致する組織づくりにつなげる。

②人的資本経営の重要性について理解し、働きやすい、働き続けることができる職場環境づくりにつなげる。

③社会人と学生が共に学ぶことにより、社会人は、学生の就職への意識を理解でき、学生は徳島県企業への関心・理解を深め、エントリーのハードルを下げることで、地元企業への就職、定着につなげる。

習得に必要な時間

コマ数：15コマ 22.5時間

受講料

全コマ受講の受講料

15,000円

*コマ受講は対応していません。



講座紹介

この講座では、理論と実務の両面から、組織とは何か、組織力強化のための職場環境づくりの重要性について学習します。

まず、組織とは何かについて、組織と集団、近代化と組織、官僚制、官僚制の逆機能、伝統的組織論、組織原則について学びます。次に、組織力強化のための職場環境づくりについては、企業理念、経営理念、女性活躍促進、欧米諸国との比較から日本のワークライフバランスの現状と課題について学びます。日本的経営の成功と失敗、本社力と現場力の講義では、「現場力」「個の能力の結集」「課題解決型人材育成」の重要性について学習します。講義での理論とともに、事例研究として徳島県企業経営者における「組織」「現場力」「人的資本経営」「健康経営」の視点から実践的な講義を実施します。事例研究では、経営者、受講生と学生が共に学ぶ場の機会の提供としてワークショップを実施します。

担当講師

コマ1～コマ15	徳島大学人と地域共創センター 教授 段野 聡子
コマ8	徳島県中小企業家同友会 (株) ネオビエント 藍原 理津子
コマ9	徳島県中小企業家同友会 (株) サンフォート 山城 真一
コマ13	徳島県中小企業家同友会 (株) フジタ建設コンサルタント 藤田 達也
コマ14	徳島県中小企業家同友会 (株) 高橋ふとん店 高橋 武良

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



講座プログラム

- | | |
|------------|---------------------------|
| 10月 2日 (水) | 1. イントロダクション |
| 10月 9日 (水) | 2. 企業経営と現代社会 |
| 10月16日 (水) | 3. 組織とは |
| 10月23日 (水) | 4. 経営組織—伝統的組織論と近代組織論— |
| 10月30日 (水) | 5. 経営組織とワークライフバランス |
| 11月13日 (水) | 6. 組織力と現場力 |
| 11月20日 (水) | 7. 中間まとめ |
| 11月27日 (水) | 8. 組織と現場力：経営者による実学 |
| 12月 4日 (水) | 9. 組織と現場力：経営者による実学 |
| 12月11日 (水) | 10. 日本的経営とは |
| 12月18日 (水) | 11. 日本的経営—諸外国との比較— |
| 1月15日 (水) | 12. 日本的経営の变革—成功と失敗— |
| 1月22日 (水) | 13. 人的資本経営と健康経営…徳島県企業事例研究 |
| 1月29日 (水) | 14. 人的資本経営と健康経営…徳島県企業事例研究 |
| 2月 5日 (水) | 15. 期末試験 |



*本講座は、総合科学部 社会総合科学科専門科目
(経営学II) を兼ねています。

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



講座4

これからのビジネスに 役立つサーキュラー エコノミー基本講座

到達目標

- ①サーキュラーエコノミーの概念が説明できる。
- ②カーボンニュートラルや持続可能性に関する潮流が理解できる。
- ③サーキュラーエコノミーのビジネスモデルを適切に解釈することができる。
- ④サーキュラーエコノミーのビジネスモデルを自社に適用する方法を考えることができる。

習得に必要な時間

コマ数：4コマ 10時間

受講料

全コマ受講の受講料

10,000円

*コマ受講は対応していません。



講座紹介

世界各国で二酸化炭素を排出しないカーボンニュートラル社会をつくるための様々な取り組みが始まり、わが国の動きも活発化しています。サーキュラーエコノミー（循環型経済）は、廃棄をなくし、資源の有効活用やリサイクルによって二酸化炭素排出を抑え、同時に経済成長も目指す新たなビジネスの潮流です。この講座では、この流れを自社の成長につなげたいビジネスマンや自治体の環境担当者向けに、脱炭素社会に求められる基礎知識を身につけるとともに、循環型ビジネスモデルの企画立案ができることを目標とします。

講義は各回とも「座学」と「演習」を織り交ぜて行い、演習ではディスカッションやワークショップを行います。製品の循環デザインを考える「サーキュラー戦略ワーク」では、グループに分かれて循環型製品の企画を立案し、最終回に各グループで発表していただきます。多面的なアプローチによって新しい概念であるサーキュラーエコノミーを体感的に理解し、職場での実践力につなげていく講座です。

担当講師

コマ1～コマ4 (株)サーキュラーエコノミードット東京 シニアエドゥケーター
熊坂 仁美

講座プログラム

- 11月11日（月） 1. サーキュラーエコノミーの基本理解
- 11月11日（月） 2. サーキュラーエコノミーの5つのビジネスモデル
- 11月25日（月） 3. 国内外の事例で見る地域の資源循環
- 11月25日（月） 4. 脱炭素社会の国際的動向と企業の未来

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



各コマ概要：各コマで習得を目指す知識・技術

コマ1：サーキュラーエコノミーの基本理解



サーキュラーエコノミーが生まれた社会的背景や基礎知識を詳しく解説。海外と日本の政策について、事例解説とディスカッションを交えながら総合的な理解を目指します。

コマ2：サーキュラーエコノミーの5つのビジネスモデル



サーキュラーエコノミーの5つのビジネスモデルについて企業事例をふんだんに使って解説します。後半の「サーキュラー戦略ワーク」では、グループに分かれ、循環モデルのビジネスアイデアの立案と検討を行い、コマ4の発表の準備を行います。

コマ3：国内外の事例で見る地域の資源循環



サーキュラーエコノミーの基本となる地域の資源循環や廃棄物の有効活用。バイオマス発電など、廃棄物をエネルギー化して地域に循環させ、有効活用する国内外の最新事例を解説します。

コマ4：脱炭素社会の国際的動向と企業の未来



炭素税等のビジネスに大きな影響が予想される規制や今後の国際的動向の解説のあと、各グループによる循環のビジネスアイデアの最終発表を行います。



*対面講義、オンライン講義同時開講のハイブリッド

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



講座5

トヨタ生産方式とIE から学ぶ生産管理講座

到達目標

- ①トヨタ生産方式の基本的な考え方を学び、標準作業の作り方、使い方を習得して自社へ応用する。
- ②標準作業を使って調査することで改善ポイントを明確にして改善の手順を自社の改善へつなげる。
- ③生産管理の管理手法の知識と手法を習得して自社の改善に応用する。

習得に必要な時間

コマ数：5コマ 15時間

受講料

全コマ受講の割引受講料

7,500円



講座紹介

生産管理は古代エジプトのピラミッド建設から始まり産業革命やフォードの大量生産方式の幕開けを経てトヨタ生産システムに引き継がれました。

この講座では最初に生産管理の歴史と生産を合理化する科学や技術を意味するIE（インダストリアルエンジニアリング）の基礎技術を学びます。製造工程（加工、運搬、検査、停滞）でムダやムラを排除するため工程分析、稼働分析、動作分析を講義と演習で学び改善に繋がります。作業者に目を向けた人間工学的な作業改善についても学びます。

トヨタ生産方式（Toyota Production System（TPS））は自動化とジャストインタイムの2本柱ですが、真の意味は在庫削減と異常値管理を示します。これを具現化するために標準作業が存在し、その必要性、作り方、使い方を説明します。さらに自社の職場で改善するためのステップとポイントを説明して習得を目指します。

担当講師

コマ1～コマ2

東京都立大学 システムデザイン学部 准教授

渋谷 正弘

コマ3～コマ5

（株）ジェイテクト 徳島・香川工場 海外改善グループ長

大野 紀一

講座プログラム

- 7月11日（木） 1. IEの基礎と効率UP①
- 7月18日（木） 2. IEの基礎と効率UP②
- 7月25日（木） 3. トヨタ生産方式の基本的な考え方
- 8月 1日（木） 4. トヨタ生産方式（標準作業）
- 8月 8日（木） 5. トヨタ生産方式（標準作業と改善）

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



各コマ概要：各コマで習得を目指す知識・技術

コマ1：IEの基礎と効率UP①

Industrial Engineering (IE) を日本では「生産工学」「経営工学」と呼んでいます。生産管理におけるIEの目的と機能について体系的に理解し、“古典的な”生産管理手法に関わる知識・技能の習得を目指します。古典を知ることはカイゼン（現在行っている仕事、あるいは働いている”場”から発生している問題点を発見、次いでその問題の分析、その分析結果に基づいて打つべき改善へのアイデアを検討、そして試行）の近道です。

コマ2：IEの基礎と効率UP②

作業者に目を向けた動作分析の習得、および人間工学に基づく作業（動作）の評価方法の習得を目指します。更に、生産性と人間性の融合に基づく改善アプローチ（エルゴマ）を解説し、理解を深めるために改善案作成演習を行います。

コマ3：トヨタ生産方式の基本的な考え方

トヨタ生産方式（TPS：Toyota Production System）は、トヨタグループのモノづくりにおける基本的な考え方です。このトヨタ生産方式の基本的な考え方をモノづくり会社（製造業）として実践するためにどういう事をするか、具体的な事例を用いながら説明します。まずは、トヨタ生産方式の2本柱である、ジャストインタイム・自動化とは？よく聞く言葉ですが、本当の意味は、在庫削減（L/T短縮）・異常値管理。なぜ、これにこだわるのか？を分かりやすく説明します。

コマ4：トヨタ生産方式（標準作業）

トヨタ生産方式を再度振り返ります。トヨタ生産方式の2本柱であるジャストインタイムと自動化。

①ジャストインタイムの考え方である『必要な物を、必要な時に、必要なだけ造る』

②自動化の考え方である『サイクルが完了・サイクルに異常があれば停まる・判る』

これらを具現化するために標準作業が存在します。その標準作業の必要性・作り方、標準3票の使い方を作業の種類によって使い分けしていきます。その作り方・実物を使って説明します。

コマ5：トヨタ生産方式（標準作業と改善）

トヨタ生産方式の2本柱の土台になっている標準作業。ジャストインタイムと自動化を具現化するための道具の一つです。『標準のないところに改善なし！』と言われるように作業手順や時間、作業方法など作業標準がなければ改善ができないだけでなく、改善結果の評価もできません。このコマは標準作業の改善の考え方を理解し道具の使い方を身に着けることを目的にその標準作業を使って現状を調査する事によって、改善ポイントを明確にして、改善するステップ1つひとつの手順を説明します。

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



講座6

新商品・開発のための マーケティング講座



到達目標

- ①マーケティング論の基本かつ重要な理論や概念について正しく理解する。
- ②学んだ理論や概念を用いて、他社事例について分析することができる。
- ③学んだ理論や概念を用いて、他の人とマーケティング課題についての議論ができる。
- ④自社のマーケティング課題について、改善策や新しい提案をすることができる。

講座紹介

マーケティングは、営利・非営利などの組織形態、製造業やサービス業などの業種、また企業規模の大小を問わず、組織が市場や社会と良好な関係を築くために重要な役割を果たす活動です。本講座では、企業がマーケティングを実践する際に基礎となる知識を習得するとともに、事例研究を通じてその実践方法や自社への適用方法についての理解を深めることを目指します。

講座内の事例研究では、受講者がグループを組んでディスカッションを行います。単なる座学で済ますのではなく、実際の企業事例における取り組み課題について自ら考え意見を交わすことにより、マーケティング分野の理論や重要概念がどのような形で活用できるのか、より深く理解することにつながります。取り上げる事例は、多くの人に馴染みがある著名な消費財企業のものが多いですが、産業財分野のマーケティングでも共通する学びを得ることができます。

担当講師

コマ1～コマ5 流通科学大学 学長
清水 信年

講座プログラム

- 7月23日 (火) 1. マーケティング発想を柱とする経営
- 7月30日 (火) 2. マーケティング活動の基礎：STPと4P
- 8月 6日 (火) 3. 商品企画とコンセプト
- 8月20日 (火) 4. ブランドのマネジメント
- 8月26日 (月) 5. 事業システムによる競争優位

習得に必要な時間

コマ数：5コマ 15時間

受講料

全コマ受講の割引受講料

7,500円

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



各コマ概要：各コマで習得を目指す知識・技術

コマ1：マーケティング発想を柱とする経営

マーケティングを企業経営の柱とすることの重要性や、そのために留意しなければならない考え方についての理解を目指します。優れたマーケティング事例の古典として知られる、欧州系エアライン企業の事例などの紹介を交えながらケースディスカッションや講義を行います。

コマ2：マーケティング活動の基礎：STPと4P

マーケティング活動を実践する際に基礎的な枠組みとなる、STPと4Pについて正しく理解することを目指します。理解を深めるための事例として、日本のある製薬会社におけるマーケティング改革を取り上げ、受講生同士のケースディスカッションを行います。

コマ3：商品企画とコンセプト

商品開発をする際に求められる、マーケティングの観点にもとづいた商品企画の方法について、その要点を理解することを目指します。事例として、日本のあるビールメーカーにおけるノンアルコールビール開発を取り上げ、受講生同士のケースディスカッションを行います。

コマ4：ブランドのマネジメント

現代の市場競争で重要な役割を果たす「ブランド」のマネジメントについて、とくに「商品」と「ブランド」のマネジメントの違いを理解することを目指します。ブランド育成に定評がある日本のある製薬会社のロングセラー飲料を事例に、受講生同士のケースディスカッションを行います。

コマ5：事業システムによる競争優位

前コマと同様、現代の市場競争で重要な役割を果たす「事業システム」の考え方について、とくに「商品」による競争と「事業システム」による競争との違いを理解することを目指します。事例として日本のあるコンビニエンス・ストアが手がけたスイーツ商品を取り上げ、受講生同士のケースディスカッションを行います。

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



講座7

ゼロから学び仕事に 活かせる3D-CAD講座

到達目標

- ①3D-CADの基本的な知識やモデルの作成方法について習得する。
- ②モデルを用いた組み立てや、より複雑なモデルの作成方法について習得する。
- ③作成したモデルを構造解析等、他の目的に活用できることを理解する。
- ④3Dプリンタの製作原理と3次元のCADデータからの製作方法について理解する。
- ⑤実際の部品等についてのモデリングと3Dプリンタでの製作を行えるようにする。

習得に必要な時間

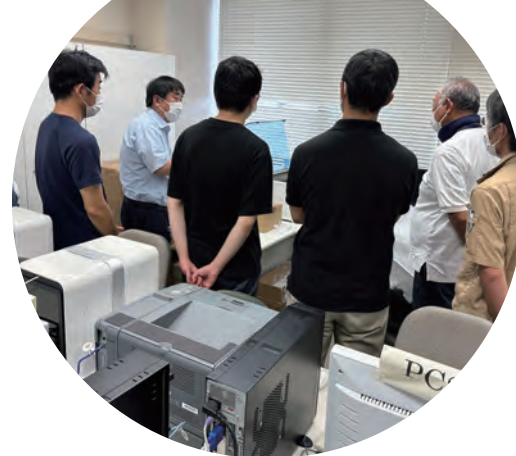
コマ数：8コマ 24時間

受講料

全コマ受講の割引受講料

12,000円

別途 ライセンス料が必要です。



講座紹介

この講座は、3D-CADの初心者を対象として、3D-CADに関する知識と技術を、実際のソフトウェア(Fusion360)を用いて習得するものです。コンピュータ上での基本的な物体（モデル）の作成方法や複数のモデルを組み合わせるアセンブルの方法の他、複雑な形状の作成方法や、モデルの形状データを用いた構造解析、レンダリング、アニメーション等の手法についても解説します。また、3Dプリンタの種類や原理、特徴についても説明し、3D-CADで作成したモデルを、3Dプリンタで実際のものとして作成することで、最先端のモノづくり手法を体験します。この講座によって、部品や製品のデジタル化とその活用について理解を深めることができます。

担当講師

コマ1～コマ8

徳島大学大学院社会産業理工学研究部 講師

浮田 浩行

講座プログラム

- | | |
|------------|---------------------------------|
| 8月 7日 (水) | 1. 3D-CADの概要とFusion360の基本操作 |
| 8月21日 (水) | 2. 基本的な形状のモデリング |
| 9月 4日 (水) | 3. 複雑な形状のモデリングとアセンブリ |
| 9月11日 (水) | 4. 3Dプリンタの概要とCADデータを用いた出力 |
| 9月25日 (水) | 5. CADデータを用いた構造解析 |
| 10月 2日 (水) | 6. 様々な形状モデルの作成 |
| 10月 9日 (水) | 7. レンダリング、アニメーション |
| 10月16日 (水) | 8. ジェネレーティブデザインと基盤設計の紹介、モデル作成実習 |

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



各コマ概要：各コマで習得を目指す知識・技術

コマ1：3D-CADの概要とFUSION360の基本操作

一般的な3D-CADの概要を説明し、実習で使用するFusion360の特徴を示します。また、ごく簡単なモデルの作成を行い、Fusion360の基本操作を習得します。さらに、Fusion360のライセンスやファイル操作等についても解説します。

コマ2：基本的な形状のモデリング

Fusion360を用いて、基本的な形状（押し出し、カット、回転、面取、フィレット等）のモデリング方法について実習も交えて説明します。また、画像を用いたスケッチやネジ穴等の特殊なフィーチャーの作成方法についても説明します。

コマ3：複雑な形状のモデリングとアセンブリ

複雑な形状（スイープ、ロフト、シェル、リップ等）のモデリング方法と複数の部品を用いたアセンブリについて説明します。さらに、アセンブリ時の部品間の干渉の確認や部品の修正等についても説明します。

コマ4：3Dプリンタの概要とCADデータを用いた出力

3Dプリンタの構造や仕組み等の基本的な内容についての説明を行い、具体的に3D-CADでモデリングした形状データを用いて3Dプリンタで作成する方法や、3Dスキャナによるデータ化について説明します。

コマ5：CADデータを用いた構造解析

作成したモデルについて簡単な構造解析を行う方法を説明します。また、モデルを3Dプリンタで作成し、解析通りの結果が得られるかどうかの検証を行います。さらに、具体的な部品形状について、図面を参照しながらモデリングする実習を行い、それらについても3Dプリンタで作成します。

コマ6：様々な形状モデルの作成

前回までのモデリングは中身が詰まったソリッドモデルを扱っていましたが、Fusion360では、中身が無い板状のモデルを扱うことも可能です。そのようなモデルとして、サーフェス、メッシュ、シートメタルの作成について説明します。また、相互にデータを変換する方法等についても解説します。

コマ7：レンダリング、アニメーション

作成したモデルを、より現実的に表現するためのレンダリングや、モデルの組立や分解をアニメーションとして表示するための手法について説明します。これによって、設計・製造工程以外での3Dデータの活用方法を示します。

コマ8：ジェネレーティブデザインと基盤設計の紹介、モデル作成実習

AIを活用した設計方法である、ジェネレーティブデザインについて解説します。また、Fusion360では、プリント基板（PCB）の作成やケース等とのアセンブリも可能であることから、既存のモデルを用いて設計方法等を紹介します。さらに、これまでの講座の内容をもとに、受講生自身でテーマを決めて、物体のモデリングや3Dプリンタによる製作を行います。

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



講座8

光によるセンシング・ イメージング計測技術 講座

到達目標

①レーザー光源や受光素子・撮像素子のといった光素子技術の発達、AI技術やナノ加工技術といった他分野技術との融合などによって高度化している最新の光によるセンシングや画像計測技術への理解を深める。

②上記により得られた知識を検査技術高度化や製品開発研究に繋げることを目標とする。

習得に必要な時間

コマ数：5コマ 15時間

受講料

全コマ受講の割引受講料

7,500円

*光によるセンシング・イメージング計測技術講座は、徳島県「次世代「光」創出・応用による産業振興・若者雇用創出事業補助金」の支援により推進しています。



講座紹介

この講座は、新しい光源・受光素子や他分野の新技术を取り入れて発展を続ける光によるセンシング・画像計測について、新技术を5回にわたり紹介します。内容としては、赤外線画像計測による異物検査、超高速分光の応用、光周波数コムの利用と非線形光学顕微鏡による生体計測、THz波や偏光を利用した計測、次世代光センシング・イメージング技術とバラエティに富み、実用化に向けたステージはトピックス毎に異なっています。これらはそれぞれが独立したトピックスのように見えますが、測定対象物から捉えたい情報を得るために、光の性質や、物質の光に対する振る舞いをうまく利用する考え方は共通しており、光技術の奥深さを感じさせ、これからの展開を期待させるものばかりです。

担当講師

コマ1	徳島大学大学院社会産業理工学研究部/ポストLEDフォトニクス研究所 教授 獅々堀 正幹
コマ1	徳島大学ポストLEDフォトニクス研究所 准教授 山口 堅三
コマ2	徳島大学ポストLEDフォトニクス研究所 教授 古部 昭広
コマ2	徳島大学ポストLEDフォトニクス研究所 助教 片山 哲郎
コマ3	徳島大学ポストLEDフォトニクス研究所 准教授 久世 直也
コマ3	徳島大学ポストLEDフォトニクス研究所 特任助教 長谷 栄治
コマ4	徳島大学ポストLEDフォトニクス研究所 特任准教授 江本 顕雄
コマ4	徳島大学ポストLEDフォトニクス研究所 講師 時実 悠
コマ5	徳島大学ポストLEDフォトニクス研究所 教授 矢野 隆章

講座プログラム

- 9月 2日 (月) 1. 光による食の安全とAIを用いたマルチメディアシステム
- 9月 9日 (月) 2. 超高速分光の原理とその応用事例
- 9月30日 (月) 3. 光周波数コムの紹介と非線形光学顕微鏡による生体計測
- 10月 7日 (月) 4. THz波や偏光を利用した計測・イメージング技術
- 10月21日 (月) 5. 次世代光センシング・イメージング技術の最前線

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



各コマ概要：各コマで習得を目指す知識・技術

コマ1：光による食の安全とAIを用いたマルチメディアシステム



目に見えない光と画像処理を組み合わせることで、食品中の異物や包装材料の不良を可視化する技術を紹介いたします。画像処理で重要なAIについて「何を学習するのか?」「人間とどこが違うのか?」をポイントに、深層学習の仕組みを噛み砕き説明します。また、応用例として、我々が開発したマルチメディアシステムを紹介いたします。

コマ2：超高速分光の原理とその応用事例



これまで3回のノーベル賞に関連した超高速分光は、物質の微細な変化を超短パルスレーザーを用いて時間的に追跡する技術であり、分子の振る舞いや反応メカニズムの解明に不可欠です。超高速分光の原理とその応用事例に焦点を当て、生命科学や材料科学などの分野での実用例を紹介いたします。

コマ3：光周波数コムを紹介と非線形光学顕微鏡による生体計測



超短パルスレーザーの新しい展開として2つのトピックスを紹介いたします。光周波数コムは周波数領域上で等間隔に並んだ光の集合です。基本的概念から光計測や情報処理技術などの応用を示します。次に、強いレーザーパルスを物質に作用させ通常では得られない情報を得る非線形光学顕微鏡による生体計測を示します。

コマ4：THz波や偏光を利用した計測・イメージング技術



光と電波の境界域であるTHz波や、光の電界振動の偏りである偏光を利用した計測・イメージング技術の事例について、原理と合わせて解説します。測定対象物の特異的情報の事例から、光計測技術のおもしろさや有用性について分かりやすく紹介いたします。

コマ5：次世代光センシング・イメージング技術の最前線



近年、ナノメートル領域の光科学に立脚した高感度光センシング・超解像光イメージング技術が注目を集めています。このコマでは、ナノ光学技術の基本原則と工業・医療応用について実例を交えながら概説します。



*対面講義、オンライン講義同時開講のハイブリッド

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



講座9

次の時代を担う リーダー育成講座



到達目標

- ①海外ビジネスの成功のポイントを理解する。
- ②3Sの大切さを理解して実践する。
- ③企業の成長戦略はミドルマネジメントやリーダーが支えていることを理解する。
- ④リーダーシップの育成方法とマネジメントシステムの活用が企業の信頼性を生み出すことを理解し自社で活用する。
- ⑤企業風土、職場風土の改革方法とコミュニケーション能力の向上方法を理解し自社で活用する。

習得に必要な時間

コマ数：5コマ 15時間

受講料

全コマ受講の割引受講料

7,500円

講座紹介

新型コロナウイルスの感染拡大は日本が創薬、医療、教育など多くの取り組みで世界から遅れ、低い給料レベルや労働生産性、深刻な人手・人材不足などを浮き彫りにさせました。これらの課題を乗り越え企業が事業を継続させ発展させることは企業リーダーの重要な役割と言えます。徳島県内企業も厳しい人材確保競争の中、社員の戦力アップが喫緊の課題です。

この講座では今年度新しく海外ビジネスを担当する人材をバックアップするために具体的な販路拡大を実現した事例研究や成功のポイントを学ぶ講座を設けました。

昨年に引き続き3Sの改善活動を通じて、チームワークの醸成や人間的成長に繋がる事を学び、企業の中で提案・改善活動が定着するための取り組みを紹介します。

ものづくり産業で働いた講師が学者や先輩達から学び、実際に活用したものをご自身の経験も踏まえて紹介するもので、経営者、管理者、現場リーダーに受講して欲しい講座です。お客様に届く製品やサービスの信頼性、競争力を高めるための人材育成に生かす方法を解説します。企業の経営理念、戦略、方針を理解して目標を達成するためにリーダーの動機付けを行ない、マネジメント能力やコミュニケーション能力のアップを目指します。

担当講師

コマ1

日本貿易振興機構（ジェトロ）徳島貿易情報センター 所長

佐藤 創

コマ2

(株)日産サティオ徳島 代表取締役社長

藤村 泰之

コマ3～コマ5

ヤマハモーターソリューション(株) 元代表取締役社長

寺井 康晴

講座プログラム

- 9月26日（木） 1. ケーススタディから学ぶ中小企業のための海外ビジネス
- 10月 3日（木） 2. 3Sの展開による職場の活性化
- 10月17日（木） 3. 顧客の信頼が支えるものづくり組織の活性化と成長
- 10月24日（木） 4. リーダーシップの育成とマネジメント
- 10月31日（木） 5. 企業風土の改革とコミュニケーション能力の向上

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



各コマ概要：各コマで習得を目指す知識・技術

コマ1：ケーススタディから学ぶ中小企業のための海外ビジネス

今日では国内と海外のマーケットの垣根は以前に比べると大幅に低くなっており、中小企業であっても海外マーケットに自社製品を輸出して販路を拡大することは特別なことではなくなりました。今回はジェトロが持つ、海外での販路拡大を実現した中小企業の事例のいくつかをケーススタディとして取り上げ、海外ビジネスの成功のためのポイントについて学びます。

コマ2：3Sの展開による職場の活性化

販売現場における職場の3S（整理、整頓、清掃）改善活動を通じたチームワークの醸成や人間的成長について実践事例から紹介し、全員参加型で学習します。3S改善活動を推進し定着するための重要な取り組みとは何か、活動の設計について学びます。ケーススタディ、グループディスカッションの中で3S改善活動について理解を深めます。

コマ3：顧客の信頼が支えるものづくり組織の活性化と成長



製造業は情報をものやサービスに変換する産業で、お客様に商品が届き長い時間をかけて使っていただく中で企業、ブランドへの信頼が生まれます。このコマではいかにして組織のチーム力により信頼性を高めながら競争力を付けていくかを学習します。経営理念から一人ひとりの動作・作業の集積までが製品やサービスの信頼性に繋がっている構造を明らかにし、リーダーとして組織の活性化と成長のために果たすべき役割を理解します。

コマ4：リーダーシップの育成とマネジメント



ものづくり現場の活性化やリーダーシップを育成するには組織における人事管理として歴史的にどのような取り組みがされてきたか理解する必要があります。このコマでは人事管理、労務管理の歴史を学び、リーダーシップは資質ではなく、意識して経験や訓練を積むことで学習できることを理解し、リーダーとして必要な考え方、視点、人を大切にすることを学びます。またマネジメントの責任と信頼性についても学びます。

コマ5：企業風土の改革とコミュニケーション能力の向上

競争力の源泉である企業風土、職場風土をいかにして改革するか、このコマでは本当に働きやすい職場、コミュニケーションしやすい人間関係を構築するために講師が取り組んだ三つの柱を紹介します。社会人として必要な社会人基礎力、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームワーク」について解説し、効果的なコミュニケーション能力向上方法を伝授します。



*Zoomによるオンライン講義

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



講座10

建設インフラDX講座 －GISとBIM/CIM－

到達目標

- ①GISの考え方、最新事例を理解する。
- ②GISソフトを用いて分布図、主題図を作成する手法を理解する。
- ③交通分野における解析手法を理解する。
- ④建設業におけるBIM/CIM、インフラDXへの理解を深める。
- ⑤BIM/CIMで用いられるデータの種類、扱い方について理解する。

習得に必要な時間

コマ数：5コマ 15時間

受講料

全コマ受講の割引受講料

7,500円

*受講にはWindowsPC（OS10以降）が必要です。



講座紹介

建設分野では、企画、計画、設計、施工、維持管理など、様々な段階でIT化が進んでいます。この講座では、GIS分野、交通計画分野、BIM/CIM分野に分かれます。建設業におけるGISとBIM/CIMの基礎知識やインフラDXの動向、スマートシティへの展開も含めた最新事例の紹介などを行います。まず、GISの基本的な考え方を理解した上で、フリーウェアのGISソフトを用いて、空間データ、統計データを分布図で表示する方法を学びます。交通計画分野では、エクセルを用いた解析手法を学びます。BIM/CIM分野では、デジタル技術を活用した建設業のDX化の動向、オープンデータを用いた設計、施工に関連する具体的な解析を学びます。

全体を通じて、講師の講義・演習による内容の理解に加え、最新事例の紹介や受講生との議論を通じて、受講生が抱える課題解決に役立つような講座にしたいと考えております。

担当講師

コマ1～コマ3

徳島大学大学院社会産業理工学研究部 准教授

渡辺 公次郎

コマ3

徳島大学大学院社会産業理工学研究部 准教授

兵頭 知

コマ4～コマ5

四国建設コンサルタント（株） 主幹

太田 亮

講座プログラム

- | | |
|-----------|--------------------------|
| 9月27日（金） | 1. GISの考え方 |
| 10月11日（金） | 2. GISを用いたデータ処理 |
| 10月25日（金） | 3. GISの応用 |
| 11月 7日（木） | 4. BIM/CIM、インフラDXの動向 |
| 11月14日（木） | 5. オープンデータ等による3次元データの取扱い |

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



各コマ概要：各コマで習得を目指す知識・技術

コマ1：GISの考え方

まずは、GISの意味、図形データ処理や位置情報処理の考え方を学び、フリーウェアのGISソフトであるQGISをダウンロードし、インストールを行います。次に、オープンデータをダウンロードし、QGISを用いて図化するまでを行います。

コマ2：GISを用いたデータ処理

QGISを用いて、主題図作成までを行います。地形や区域、施設位置などに関するオープンデータをダウンロードし、統計データと組み合わせて主題図を作成します。施設の分布、区域指定、人口分布、地形など色々なデータを用いて、2次元や3次元の主題図を作成します。

コマ3：GISの応用

まず、交通計画に関するデータを用いて、エクセルで可能な解析手法を学びます。次に、特に建築分野で導入が進みつつある、BIMについて、その概要とGISとの融合の例を紹介しします。最後に、GISやBIM/CIMが基になっているスマートシティについて、その意味と事例を紹介しします。

コマ4：建設業におけるBIM/CIM、インフラDXの動向

建設業では、生産性向上を目的にUAVによる地形データの取得、設計データの3次元化（BIM/CIM）等のインフラDXの活用に取り組んでいます。デジタル技術を全面的に活用することで、これまでとは異なる建設業の変革について、その動向と業界で求められる技術について講義を行います。

コマ5：オープンデータ等による3次元データの取扱い

設計や施工のデータの一部は、国土交通省等から様々なファイル形式で、オープンデータとして公開されています。これらオープンデータから、設計、施工の3次元データ（BIM/CIM）を取得する他、測量機器やスマートフォンを用いて点群を取得し、これらデータの取り扱い方法について学習します。



徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



講座11

RASPBERRY PIを 使って学ぶロボット プログラミング講座



到達目標

- ①ロボットの機構、電装、制御に関する基礎知識を習得する。
- ②ロボット制御のためのコンピュータを用いた信号入出力プログラムを作成できる。
- ③フィードバック制御の基礎知識を習得し、モータを制御できる。
- ④ロボットの制御プログラムを実装できる。

習得に必要な時間

コマ数：8コマ 24時間

受講料

全コマ受講の割引受講料

38,000円

*製作部品費 26,000円を含みます

講座紹介

ロボット技術はあらゆる産業分野への導入が進められていますが、ロボットは多くの要素技術をシステムとして統合したもので、ロボットの仕組みを理解するのは簡単ではありません。実際のロボット開発には、機構設計、部品選定、電装設計、プログラミング環境の構築、アルゴリズム考察、プログラミングなど多くの工程が必要です。これらの作業には多くの時間と労力、コストを必要とします。

この講座では、ロボットの基礎技術であるモーションコントロールの概要とその要素技術として基本的なアクチュエータとセンサの構造や使用法について解説します。また、安価な小型コンピュータを利用したロボット製作実習を通してロボットの制御プログラム製作の実習を行い、実際にアーム型ロボットの制御を行います。さらに、ロボットの導入が加速している介護・福祉分野や農業分野におけるロボット開発事例についても紹介します。

担当講師

コマ1～コマ8

徳島大学大学院社会産業理工学研究部 助教

鈴木 浩司

講座プログラム

- | | |
|------------|-----------------------------|
| 12月 5日 (木) | 1. ロボットの基礎技術 |
| 12月12日 (木) | 2. マイクロコントローラとロボットの機構 |
| 12月19日 (木) | 3. Raspberry Piの初期設定とGPIO制御 |
| 1月 9日 (木) | 4. 電圧の計測とセンサICとの通信 |
| 1月16日 (木) | 5. PWMによる電圧制御とDCモータの速度制御 |
| 1月23日 (木) | 6. フィードバック制御によるモータの角度制御 |
| 1月30日 (木) | 7. RCサーボモータの制御とアーム型ロボット |
| 2月 6日 (木) | 8. 発展課題と大学でのロボット研究紹介 |

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



各コマ概要：各コマで習得を目指す知識・技術

コマ1：ロボットの基礎技術

ロボットの基礎技術であるモーションコントロールシステムと、その構成要素であるアクチュエータとして主に電磁アクチュエータと、各種センサ（位置、速度、力覚、距離等）について学習します。また、ロボットの制御器の基礎とフィードバック制御系の概要を学習します。

コマ2：マイクロコントローラとロボットの機構

ロボットの制御に用いられるマイクロコントローラの基礎知識としてその種類、プログラミング言語、開発環境について解説します。さらに、ロボットの機構として、ロボットアームの種別や移動機構（車輪式、クローラ式、脚式）について学習します。

コマ3：RASPBERY PIの初期設定とGPIO制御

ロボット製作実習で使用するコンピューター（Raspberry Pi）の概要を学習し、OS（Raspberry Pi OS）のセットアップ、アップデート等の初期設定を行います。実習で用いるLinuxコマンド、Python言語について学習し、Python言語を用いた基礎的なGPIO（General Purpose Input/Output）制御プログラムについて学習します。

コマ4：電圧の計測とセンサICとの通信

コンピューターでアナログ電圧を測定するため、ADコンバータのICの仕組みと、様々なセンサとRaspberry Piとの通信に用いられるSPI通信について学習します。アナログ電圧の測定として、ボリュームの角度検知、ジョイスティックの入力検出、測距センサによる距離測定の実習を行います。

コマ5：PWMによる電圧制御とDCモータの速度制御

コンピューターによる電圧制御としてPWM（Pulse Width Modulation）と直流モータを駆動するためのHブリッジ回路とモータドライバICについて学習します。Raspberry PiのGPIO制御ライブラリであるpigpioを用いたPWMによるLEDの調光、直流モータの速度制御、回転方向制御を実習します。

コマ6：フィードバック制御によるモータの角度制御

基礎的なフィードバック制御としてPID制御の仕組みとフィードバックゲイン設計法について学習し、直流モータとポテンシオメータによる角度測定を組み合わせた回転核のフィードバック制御を実習します。PID制御器のゲイン設定によりモータの角度制御特性が変化することを確認します。

コマ7：RCサーボモータの制御とアーム型ロボット

角度フィードバック制御器を内蔵したRCサーボモータの利用法を学び、PWM信号によりRCサーボモータを任意の角度に制御可能であることを確認します。ジョイスティックによりRCサーボモータを複数用いたアーム型ロボットを制御するプログラムを作成します。

コマ8：発展課題と大学でのロボット研究紹介

アーム型ロボットの発展課題として、USBカメラ、ネットワーク等を組み合わせた遠隔操作監視カメラのプログラムを紹介します。大学におけるロボット研究として、介護・福祉ロボット、農業用ロボットなどについて学習します。

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



講座12

基礎から始める AIエンジニア育成講座

到達目標

①生成AIの背景にある考え方を理解し、部下などに説明できるようになる。

②画像判定AIの基礎と、課題解決のために応用する技術を身につける。

③言語生成AIの基礎と、課題解決のために応用する技術を身につける。

④生成AIを発展的に活用する視点、また率先して応用していくことのできる技能を身につけ、部下などの指導も行えるようになる。

習得に必要な時間

コマ数：8コマ 24時間

受講料

全コマ受講の割引受講料

12,000円

*受講にはWindowsPC (OS10以降) が必要です



講座紹介

生成AIは、写真・絵画、あるいは人間の言葉をほぼ人間と同じレベルで認識し、生成することができます。こうした技術の背景には、コンピューターが大量のデータを効率的に処理分析できるようになり、データに基づく知識をAIが蓄積できるようになった技術開発があります。

すでに生成AIを組み込んだ社会サービスも多く提供されています。それらは日常の用途にはある程度十分な機能を備えています。生成AIの本領は、個人あるいは会社組織が、独自の情報・データをAIに与え、より応用的な性能を発揮できるよう拡張できることにあります。

この講座では、講義と演習を通して、生成AIが成立した背景、考え方と技術の基礎、さらには拡張をするために必要なプログラミング技術を学びます。

担当講師

コマ1～コマ4

徳島大学デザイン型AI教育研究センター 特任助教
鳥井 浩平

コマ5～コマ8

徳島大学デザイン型AI教育研究センター 教授
石田 基広

講座プログラム

- | | |
|-----------|-----------------------|
| 1月10日 (金) | 1. AIの基礎 |
| 1月14日 (火) | 2. Pythonプログラミングと画像処理 |
| 1月24日 (金) | 3. 物体認識AIをつくる |
| 1月31日 (金) | 4. 物体認識アプリをつくる |
| 2月 7日 (金) | 5. 言語生成AIをまなぶ |
| 2月14日 (金) | 6. 言語生成AIを拡張する |
| 2月21日 (金) | 7. 言語生成AIに追加の情報を与える |
| 2月28日 (金) | 8. 言語生成AIをアプリ化する |

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



各コマ概要：各コマで習得を目指す知識・技術

コマ1：AIの基礎

AIの歴史とともに、AIの種類や特徴、考え方について学びます。また、AI開発に必要な不可欠な基礎的知識・技術について学びます。現代社会におけるAIとの付き合い方について論理的に考えることができるようになり、生成AIのメリット・デメリットについて学ぶことができます。

コマ2：PYTHONプログラミングと画像処理

AI開発で大人気のプログラミング言語Pythonの基本的な使い方について学びます。また、Pythonを用いた簡単な画像処理に挑戦し、プログラミングにおける画像の扱い方について学びます。AIを構築・理解するために必要なプログラミング技術を習得することができます。

コマ3：物体認識AIをつくる

画像AIの基本となる物体認識（画像に写る物体を識別する）AIの構築と学習を行います。また、AIの精度を適切に評価するための手法・技術を学びます。結果やデータの流れが比較的わかりやすい物体認識AIのプログラミングを行うことで、AIに関する知識をより深めることができます。

コマ4：物体認識アプリをつくる

物体認識AIを使って、ドラッグ&ドロップで入力した画像に対して物体認識を行うアプリを製作します。アプリを製作する楽しさを体験することができ、より具体的なAIの社会実装イメージを掴むことができます。また、AIの応用・運用方法について考える力を身に付けることができます。

コマ5：言語生成AIをまなぶ

ChatGPTに代表される言語生成AIが注目されています。コマ5からは、言葉を生成するAIの活用可能性を学んでいきます。最初に、言葉をコンピューターで処理する方法、考え方、技術を概観します。次に、その発展形である言語生成系AIの現状を考察します。

コマ6：言語生成AIを拡張する

ChatGPTに代表されるAIチャットボットを、自分個人の関心や、会社の業務に使えるようカスタマイズする方法を学びます。WEB版のChatGPTでもある程度の開発は可能なので、その方法について説明します。さらにPythonを使って、ChatGPTなどの言語生成AIを拡張する意義や方法について理解します。

コマ7：言語生成AIに追加の情報を与える

インターネットなどに公開されている文書を学んだ言語生成AIに、最新情報を検索させる、あるいは指定した文書を追加で学ぶ方法を学びます。これにより、例えば会社独自の資料にもとづいて回答を返すことのできる業務支援型のチャットボットを開発することができます。

コマ8：言語生成AIをアプリ化する

言語生成AIをカスタマイズした成果をWEBアプリとして利用する方法を学びます。最後に、MicrosoftのAzureというAIサービスについて紹介します。

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



講座13

優良企業の知恵を 現地で学ぶ ベンチマーク視察

到達目標

①自社の経営課題解決のための方策を事例から学ぶことにより、スピーディーな学習効果につなげる。

②ベンチマーク視察での学習を自社に落とし込むことにより、自社の風土、組織づくりの改革につなげる。

習得に必要な時間

コマ数：4コマ 14時間

*移動の時間は含みません。

受講料

14,000円

*別途バス代が必要です。



講座紹介

「知の探求」×「知の深化」

企業が持続可能な成長を目指すためには、「顧客動向」「市場調査」「新技術」などを常に多角的に学び続けることが必要不可欠です。近年における不透明な経済環境においては、事業環境の変化への対応がこれまで以上に求められており、現場レベルでの読み解く力、行動力の高さも重要になっています。

ベンチマーク視察は、自社の経営課題解決の最適解について、すでに成功している企業事例から「学び取る」、「知の探求」ができます。さらに、ベンチマーク視察により習得した知識を企業内で共有することにより、「知の深化」を実現させることができます。

優良企業のノウハウを自社に活用しましょう。

講座プログラム

- 9月24日（火） 1. リボン食品株式会社・株式会社王宮
- 10月22日（火） 2. 船場化成株式会社
- 11月15日（金） 3. 徳島カム株式会社
- 2月 4日（火） 4. 萩原工業株式会社・株式会社フジワラテクノアート

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



各コマ概要：各コマで習得を目指す知識・技術

コマ1：リボン食品株式会社・株式会社王宮

●リボン食品株式会社

リボン食品株式会社は、1907年、洋食やバターが珍しい時代、アメリカで学んだ知識や技術を活かして、日本で初めてマーガリンの製造を開始しました。さらに、1970年には日本で初めて、冷凍パイ生地を販売しました。パイオニア精神を持ち、ユニークな商品作り、徹底した商品へのこだわりを続けてきた企業の「人づくり」、「組織づくり」を講演、工場見学を通じて紹介します。

●株式会社王宮

株式会社王宮は、1970年に創業した宿泊業です。屋号は「道頓堀ホテル」としてホテル事業を展開しています。経営の軸として、「家族主義的経営」を掲げコロナ禍においてもスタッフの福利厚生、働きやすい職場環境づくりに絶やさず尽力し、これらの取り組みが評価され、「第10回ホワイト企業大賞」において大賞を受賞し表彰を受けました。社員の声に耳を傾ける経営のあり方について紹介します。

コマ2：船場化成株式会社

船場化成株式会社は1959年に設立され、産業用や食品、ダイレクトメール、ファッションバック等のポリエチレンフィルムの生産を行っています。製造、印刷、スリット、製袋まで一貫して生産できる体制・設備が整っています。視察する西長峰工場は環境対策、品質対策が徹底され、安全・安心な職場環境で国内最大級の幅広い製品が生産されています。会社全体でデジタル情報システム化が進み、ペーパーレス等DXで業務効率化が図られています。また「四国で一番大切にしたい会社大賞」受賞、「健康経営優良法人」「ダイバーシティ経営企業」徳島市認定など数多くの受賞、認定を受けています。

コマ3：徳島カム株式会社

徳島カム株式会社は1981年の創業から、カムのトータルメーカーとしてあらゆる産業分野にカムを提供してきています。カム機構は広範囲の産業機械（組立機械、包装機械、食品機械、印刷機械、電子部品製造装置など。）にはなくてはならない機構です。カム機構による機械制御は騒音の発生が少ない機構や複雑な動きに適した機構など多くのメリットが考えられます。技術の進歩が目覚ましく、グローバル化が進む現在において機械設備は、多種多様な動きが必要となってきています。そのような顧客の要望に応じて高い技術のもとオーダーメイドで作られた高品質の製品を徳島から国内外に発送している企業です。また、カム製作工場は最新機械が並びゆとりのあるレイアウトになっています。さらに、新機械が導入されてもいつでも適切なレイアウトに配置換えができるように工場全体が考えられていることが魅力的です。

コマ4：萩原工業株式会社・株式会社フジワラテクノアート

●萩原工業株式会社

萩原工業株式会社は、1962年に設立し産業機械の製造・販売を行っています。経営理念は「萩原工業はフラットヤーン技術を大事にしながら常に変革し続け、世のため人のために役立つ会社であろう」です。この経営理念のもと、社員がいきいきと働くことのできる職場づくりと健康づくりに積極的に取り組んでいます。講演、工場見学を通じて、ウェルビーイング経営のあり方について紹介します。

●株式会社フジワラテクノアート

株式会社フジワラテクノアートは、1933年に創業して以来、岡山市に拠点を構え、醸造機械のトップメーカーとして躍進しています。ミッションは、「醸造を原点とし、世界中の人々がともに喜び合える感動に満ちた社会を実現する」です。技術力、信頼の蓄積を目的とした社員の主体的学びである「リスクリング」を積極的に後押ししています。社員が一体となり、ダイバーシティ、DXの取り組みをすすめ、「経営優良法人2024」に認定されました。

徳島大学 人と地域共創センター

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL 088-656-9884 E-mail reskilling@tokushima-u.ac.jp

URL <https://www.cue.tokushima-u.ac.jp/reskilling/>

お申し込み



令和6年度

「とくしまビジネスリスティングスクール」料金表

ビジネス系講座

*ビジネス系講座は、コマ受講には対応していません。

講座名	日程	講義内容	時間	全コマ受講
講座1 エンゲージメント マネジメント講座	7月4日(木)	1. いい企業になるための100の指標	4時間	34,000円
	7月26日(金)	2. 経営理念の成文化と社内への浸透	4時間	
	8月2日(金)	3. 多様な人材が輝く職場づくりと企業の価値創造	4時間	
	9月13日(金)	4. ウェルビーイング経営と企業の成長	4時間	
	9月24日(火)	5. ベンチマーク視察*	4時間	
	11月1日(金)	6. ベンチマークの学びについての振り返り、成果発表	5.5時間	
講座2 人を大切にする 経営学講座	11月29日(金)	1. 時代が求める企業経営のあり方・進め方、人を大切にする企業の就業規則とは	4時間	34,000円
	12月20日(金)	2. お互いさま経営	4時間	
	1月20日(月)	3. 五方良しの経営、楽しみ方経営	4時間	
	2月4日(火)	4. ベンチマーク視察**	4時間	
	2月17日(月)	5. 社員のモチベーションを高める経営、令和5年度受講後における実践報告、成果発表	5.5時間	
講座3 ビジネス学講座 (経営学II)	10月2日(水)	1. イントロダクション	1.5時間	15,000円
	10月9日(水)	2. 企業経営と現代社会	1.5時間	
	10月16日(水)	3. 組織とは	1.5時間	
	10月23日(水)	4. 経営組織－伝統的組織論と近代組織論－	1.5時間	
	10月30日(水)	5. 経営組織とワークライフバランス	1.5時間	
	11月13日(水)	6. 組織力と現場力	1.5時間	
	11月20日(水)	7. 中間まとめ	1.5時間	
	11月27日(水)	8. 組織と現場力：経営者による実学	1.5時間	
	12月4日(水)	9. 組織と現場力：経営者による実学	1.5時間	
	12月11日(水)	10. 日本的経営とは	1.5時間	
	12月18日(水)	11. 日本的経営－諸外国との比較－	1.5時間	
	1月15日(水)	12. 日本的経営の変革－成功と失敗－	1.5時間	
	1月22日(水)	13. 人的資本経営と健康経営・・・徳島県企業事例研究	1.5時間	
	1月29日(水)	14. 人的資本経営と健康経営・・・徳島県企業事例研究	1.5時間	
	2月5日(水)	15. 期末試験	1.5時間	
講座4 これからのビジネスに 役立つサーキュラー エコノミー基本講座	11月11日(月)	1. サーキュラーエコノミーの基本理解	2時間	10,000円
	11月11日(月)	2. サーキュラーエコノミーの5つのビジネスモデル	3時間	
	11月25日(月)	3. 国内外の事例で見る地域の資源循環	2時間	
	11月25日(月)	4. 脱炭素社会の国際的動向と企業の未来	3時間	

ものづくり系講座

講座名	日程	講義内容	時間	受講料	全コマ受講
講座5 トヨタ生産方式とIE から学ぶ生産管理講座	7月11日(木)	1. IEの基礎と効率UP①	3時間	3,000円	7,500円
	7月18日(木)	2. IEの基礎と効率UP②	3時間	3,000円	
	7月25日(木)	3. トヨタ生産方式の基本的な考え方	3時間	3,000円	
	8月1日(木)	4. トヨタ生産方式(標準作業)	3時間	3,000円	
	8月8日(木)	5. トヨタ生産方式(標準作業と改善)	3時間	3,000円	
講座6 新商品・開発のための マーケティング講座	7月23日(火)	1. マーケティング発想を柱とする経営	3時間	3,000円	7,500円
	7月30日(火)	2. マーケティング活動の基礎：STPと4P	3時間	3,000円	
	8月6日(火)	3. 商品企画とコンセプト	3時間	3,000円	
	8月20日(火)	4. ブランドのマネジメント	3時間	3,000円	
	8月26日(月)	5. 事業システムによる競争優位	3時間	3,000円	

講座名	日程	講義内容	時間	受講料	全コマ受講
講座7 ゼロから学び仕事に活かせる3D-CAD講座	8月7日(水)	1. 3D-CADの概要とFusion360の基本操作	3時間	3,000円	12,000円
	8月21日(水)	2. 基本的な形状のモデリング	3時間	3,000円	
	9月4日(水)	3. 複雑な形状のモデリングとアセンブリ	3時間	3,000円	
	9月11日(水)	4. 3Dプリンタの概要とCADデータを用いた出力	3時間	3,000円	
	9月25日(水)	5. CADデータを用いた構造解析	3時間	3,000円	
	10月2日(水)	6. 様々な形状モデルの作成	3時間	3,000円	
	10月9日(水)	7. レンダリング、アニメーション	3時間	3,000円	
	10月16日(水)	8. ジェネレーティブデザインと基盤設計の紹介、モデル作成実習	3時間	3,000円	
講座8 光によるセンシング・イメージング計測技術講座	9月2日(月)	1. 光による食の安全とAIを用いたマルチメディアシステム	3時間	3,000円	7,500円
	9月9日(月)	2. 超高速分光の原理とその応用事例	3時間	3,000円	
	9月30日(月)	3. 光周波数コムを紹介と非線形光学顕微鏡による生体計測	3時間	3,000円	
	10月7日(月)	4. THz波や偏光を利用した計測・イメージング技術	3時間	3,000円	
	10月21日(月)	5. 次世代光センシング・イメージング技術の最前線	3時間	3,000円	
講座9 次の時代を担うリーダー育成講座	9月26日(木)	1. ケーススタディから学ぶ中小企業のための海外ビジネス	3時間	3,000円	7,500円
	10月3日(木)	2. 3Sの展開による職場の活性化	3時間	3,000円	
	10月17日(木)	3. 顧客の信頼を支えるものづくり組織の活性化と成長	3時間	3,000円	
	10月24日(木)	4. リーダーシップの育成とマネジメント	3時間	3,000円	
	10月31日(木)	5. 企業風土の改革とコミュニケーション能力の向上	3時間	3,000円	
講座10 建設インフラDX講座 -GISとBIM/CIM-	9月27日(金)	1. GISの考え方	3時間	3,000円	7,500円
	10月11日(金)	2. GISを用いたデータ処理	3時間	3,000円	
	10月25日(金)	3. GISの応用	3時間	3,000円	
	11月7日(木)	4. 建設業におけるBIM/CIM、インフラDXの動向	3時間	3,000円	
	11月14日(木)	5. オープンデータ等による3次元データの取扱い	3時間	3,000円	
講座11 Raspberry Piを使って学ぶロボットプログラミング講座	12月5日(木)	1. ロボットの基礎技術	3時間	3,000円	38,000円
	12月12日(木)	2. マイクロコントローラとロボットの機構	3時間	3,000円	
	12月19日(木)	3. Raspberry Piの初期設定とGPIO制御	3時間	3,000円	
	1月9日(木)	4. 電圧の計測とセンサICとの通信	3時間	3,000円	
	1月16日(木)	5. PWMによる電圧制御とDCモータの速度制御	3時間	3,000円	
	1月23日(木)	6. フィードバック制御によるモータの角度制御	3時間	3,000円	
	1月30日(木)	7. RCサーボモータの制御とアーム型ロボット	3時間	3,000円	
	2月6日(木)	8. 発展課題と大学でのロボット研究紹介	3時間	3,000円	
講座12 基礎から始めるAIエンジニア育成講座	1月10日(金)	1. AIの基礎	3時間	3,000円	12,000円
	1月14日(火)	2. Pythonのプログラミングと画像処理	3時間	3,000円	
	1月24日(金)	3. 物体認識AIをつくる	3時間	3,000円	
	1月31日(金)	4. 物体認識アプリをつくる	3時間	3,000円	
	2月7日(金)	5. 言語生成AIをまなぶ	3時間	3,000円	
	2月14日(金)	6. 言語生成AIを拡張する	3時間	3,000円	
	2月21日(金)	7. 言語生成AIに追加の情報を与える	3時間	3,000円	
	2月28日(金)	8. 言語生成AIをアプリ化する	3時間	3,000円	

ベンチマーク視察

講座名	日程	講義内容	時間	受講料
講座13 ベンチマーク視察	9月24日(火)	1. リボン食品株式会社・株式会社王宮(*エンゲージメントマネジメント講座 コマ5と同じ講座)	4時間	4,000円
	10月22日(火)	2. 船場化成株式会社	3時間	3,000円
	11月15日(金)	3. 徳島カム株式会社	3時間	3,000円
	2月4日(火)	4. 萩原工業株式会社・株式会社フジワラテクノアート(**人を大切にする経営学講座コマ4と同じ講座)	4時間	4,000円

INFORMATION

講座ご利用案内

ビジネスマイスター

ビジネス系講座のうち、受講時間の合計が60時間以上となる3講座を修了し、かつ、ベンチマーク視察を2回以上受講した場合に称号を付与します。

テクノマイスター

ものづくり系講座のうち、受講時間の合計が60時間以上となる3講座を修了し、かつ、ベンチマーク視察を2回以上受講した場合に称号を付与します。

受講料

料金表および各ページをご参照ください。

お申し込み

徳島大学 人と地域共創センター



とくしまビジネス
リスティングスクール
はこちらから

講義は基本、対面講義

一部、Zoomによるオンライン講義、対面・オンラインのハイブリッド講義がございます。



マークが2つの場合は、
ハイブリッド講義
Zoomによる
オンライン講義

各種補助金

* 「徳島市中小企業等人材確保・育成支援事業補助金」の対象研修です。

* 「人材開発支援助成金（事業展開等リスティング支援コース）」の対象研修です。

修了証書授与条件

それぞれの講座ごとに、全コマ受講した場合は、講座の修了証書を授与します。
(ベンチマーク視察を除く)



MAP



国立大学法人徳島大学
人と地域共創センター

〒770-8502

徳島市南常三島町1丁目1番地

TEL. 088-656-9884

FAX. 088-656-9313

Mail:reskilling@tokushima-u.ac.jp

